

科 目 名	S S 英語Ⅲ 〈英語コミュニケーションⅢ〉	理数科 3 年次・6 単位中 4 単位
目 標	・日常的・社会的話題について話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図概要や要点などを捉えることができる。（聞くこと・読むこと） ・日常的・社会的話題について多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる（話すこと[やりとり・発表]） ・日常的・社会的話題について多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用い、情報や考えなどを複数の段落からなる文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる（書くこと）	
位 置	過去 2 年で履修した「S S 英語Ⅰ」「S S 英語Ⅱ」の学習を踏まえ、5 つの領域別の言語活動や複	
づ け	数の領域を結びつけた統合的な言語活動を発展的に行う科目である。	

■使用する教材	■学習する単元とおおよその時期
・ LANDMARK English CommunicationⅢ（啓林館）	・ Lesson 1 【4 月】
・ Listening Ace 10 〈UPGRADED〉（美誠社）	・ Lesson 2 【5 月】
・ Mileage Reader 5（いっずな書店）	・ Lesson 3 【6 月】
・ 必携英単語 LEAP（数研出版）	・ Lesson 4 【7 月】
・ Vintage 4 th Edition（いっずな書店）	・ Lesson 5 【8 月】
	・ Lesson 6 【9 月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法	・ Lesson 7 【10 月】
・ 教材テキストの内容を 5 領域を駆使し把握する	・ Lesson 8 【11 月】
・ リスニング教材に必要な情報を聞き取り、スクリプトを活用し、更に深く理解する	・ Lesson 9 【12 月】
	・ Lesson 10 【1 月】
	・ リスニング教材／速読教材 【通年】

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・英語の仕組みや言葉の働きについて理解を深めている。 ・コミュニケーションにおいて 5 領域を用い、適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションにおいて話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりしている	・言語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	B ・英語の仕組みや言葉の働きについて理解している。	・コミュニケーションにおいて話し手や書き手の意図などがある程度理解している。	・言語の背景にある文化を理解し、コミュニケーションを図ろうとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、小テスト 課題の提出内容	定期考査、テスト 初出の表現事項	授業中や小テストに対しての 取り組む姿勢